

# 活魚流通拡大連携協議会

## ■取組の背景

- 韓国向けの輸出では、配合飼料に含まれる魚粉に添加される酸化防止剤（エトキシキン及びエトキシキンダイマー）残留量の基準が厳しく、従来使用していた配合飼料では輸出条件を満たすことができなかった
- また、韓国では「夏季のブリは寄生虫が多い」という認識から、ニーズが冬季に限定されていた。

## ■取組の目的

- エトキシキンフリーの配合飼料を用いた生産による韓国向けブリ、カンパチの生産
- 現地ニーズに沿った活魚の輸出
- 韓国におけるブリ、カンパチの販路開拓

## ■協議会の構成員と役割

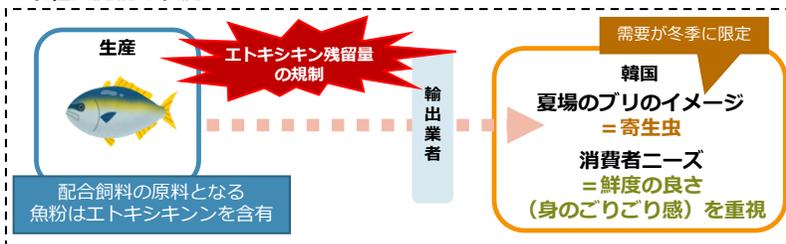
	段階	名称	具体的な取組内容
事業実施者	生産	株式会社マルハニチロAQUA 玄海事業所 桜島事業所	・養殖ブリ、カンパチの生産・販売
	加工・流通	イヨスイ株式会社	・養殖ブリ、カンパチの輸出、通関業務
	流通	住宝丸活魚運搬株式会社	・養殖魚の活魚運搬
	輸出	マルハニチロ株式会社	・養殖ブリ、カンパチの生産・販売

## ■取組内容

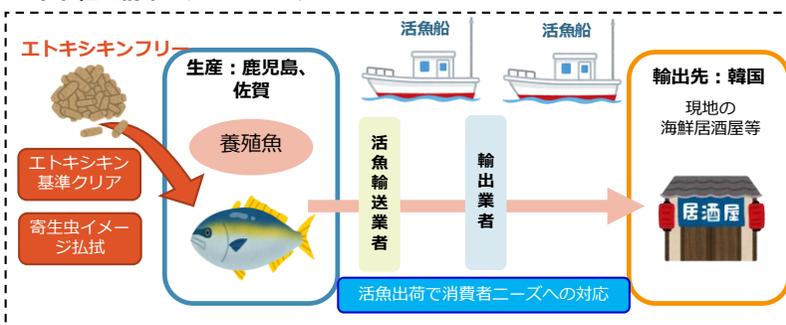
生産	<b>◆輸出基準を満たすブリ、カンパチの生産試験</b> ✓ エトキシキンフリーの配合飼料を用いた生産試験の実施▶ 韓国への輸出条件を満たすブリ、カンパチを生産するために、 <b>エトキシキンフリーの魚粉</b> を使用した配合飼料を用いた生産試験を実施。 ※なお、取組当時は韓国における酸化防止剤基準が緩和されていたため、基準適用の再開に備え生産試験を実施
	<b>◆輸出対象魚の活魚運搬</b> ✓ 活魚運搬船による活魚出荷の実施▶ 輸出先マーケットのニーズに合わせ、 <b>身のざりざり感が残る程の高鮮度な魚</b> を輸出するために、活魚運搬船によって輸送。 ✓ <b>安全な航海方法の実証</b> ▶ 夏場の移送は、航路によっては高水温による斃死リスクを伴う。 <b>斃死及び商品価値の減少を防ぐ</b> ために、安全な航海方法を実証する。
加工・流通	<b>◆現地調査及び商談の実施</b> ✓ 輸出先現地における市場調査や商談の実施▶ <b>夏場のブリ輸出を拡大</b> するため、韓国現地における認識や消費状況などについて調査を実施。さらに、現地での販促イベントを実施する。+
輸出	

# 養殖ブリの韓国向け活魚輸出

## ■取組実施前の状況



## ■本取組で構築したバリューチェーン



## ■取組の現状と今後の展望

- エトキシキンフリー（別の酸化防止剤を使用）の魚粉を用いた配合飼料による生産体制を構築し、韓国向けのブリ、カンパチの輸出を実施。
- 今後は韓国に加え、ブリ、カンパチ需要が高まっている中国向けの輸出にも取り組む方針。

### ★本取組によって得られたバリュー★

課題解決（生産面）	韓国向けの輸出条件を満たすブリ、カンパチの生産
販路開拓	韓国現地における販促活動によるブリ、カンパチの輸出拡大